

各診療科外来担当医師のご案内(平成24年7月1日～)

JA北海道厚生連 倶知安厚生病院						
	曜日	月	火	水	木	金
総合診療科	午前	田村【隔週】	田村/出張医【隔週】		木佐	杉浦
		杉浦	杉浦	木佐	井上【隔週の為、診察日についてはお問い合わせ下さい】	
		出張医	出張医	出張医	出張医	出張医
				佐々木(血液)		桂(呼吸器)
	午後	田村【隔週】	田村【隔週】 佐々木(血液)		井上【隔週の為、診察日についてはお問い合わせ下さい】	
消化器科	午前	駒場	駒場(PMIは予約のみ)	検査	井川	8:00~11:00(月・火・木) PMIは予約のみ(火・木)
	午後	検査			井川	金曜日 9:00~11:00(再来のみ) 13:15~15:00(再来のみ)
循環器科	午前	出張医(10時~)	出張医(9時~) 出張医	出張医	長井(再来のみ)	長井(再来のみ)
	午後	出張医	検査 出張医		検査	休診
呼吸器科	午前	休診	出張医 ※第1のみ (完全予約制)		休診	8:00~11:00
神経内科	午後	休診			出張医 (完全予約制)	休診
小児科	午前	奥野	豊川	奥野	奥野	豊川
	午後	豊川	町村の乳検等	乳児検診13時~13時半 予防接種15時~16時	町村の乳検等	奥野
脳外科	午前	出張医	休診	木原	出張医(第1,3週)	木原
	午後	出張医	休診	木原		出張医 9:30~11:00 木原 8:00~11:00
心外	午前	休診			出張医(第2、4のみ)	休診
	午後	休診			休診	
外科	午前		数馬	数馬	出張医	出張医
	午後	手術・検査	手術	検査	手術	手術
整形外科	午前	九津見 田辺 永井	田辺 永井 出張医	九津見 須藤(背柱) 田辺	九津見 遠山(膝) 永井	田辺 永井
	午後	検査・手術	午後外来	検査・手術	検査・手術	検査・手術
産婦人科	産科	杉山	杉山	杉山	杉山	杉山(予約のみ) 島畑
	婦人科	島畑	島畑	島畑	島畑	
皮膚科	午前	休診	出張医	出張医	休診	8:00~11:00
	午後	出張医	出張医	休診		13:00~15:00
泌尿器科	午前	高木	島	高木	島	高木
	午後	検査	藤井 10:00~	出張医(第2のみ)	藤井 14:00~16:00	手術
耳鼻科	午前	休診				
	午後	休診	出張医	出張医	休診	出張医
精神神経科	午前	土田	豊島	土田	土田	豊島
	午後	宇土	宇土	豊島		宇土
	午後	土田(新患)	豊島(新患)	豊島・宇土(新患・隔週)		宇土(新患)

＊総合診療科
＊精神神経科
＊精神神経科
＊整形外科
＊呼吸器科
＊泌尿器科
＊麻酔科

初診外来の担当医については毎日変更いたします
①施設外来…毎週火曜日 午後(予約のみ)
②新患予約…月・火・水(隔週のみ)・金 → 14:00～15:00(1日2名まで、完全予約制となります)
③毎日 午前 股関節検診 ④須藤(背柱)Dr → 第1・第2・第4水曜日のみ
診療日時は内科及び受付窓口横の掲示板をご覧ください
腎臓内科は第2水曜日(出張医)となります(予約のみ)
ペインクリニック外来は平成24年3月末をもって終了しております(手術前診察については継続)

編集後記

ようやく羊蹄山麓周辺にも夏が訪れました。今年も『暑い夏』のほうが夏らしくて良いのですが、全国各地での原発停止による電力不足から、場合によっては計画停電も実施される可能性もあるため、できることなら『涼しい夏』が期待されるところです。

さて、昨年から当院にて3ヵ月に1回発行してきました院外広報誌『笑顔だより』ですが、今夏で創刊から丸1年が経過しました。この1年間、多くの皆さまに『笑顔だより』を読んでいただきましたことに深く感謝申し上げます。

今後も、当院の情報を読者の皆さまにお届けするとともに、地域に密着した病院として職員一同日々努力していく所存でございますので、倶知安厚生病院ならびに『笑顔だより』をよろしく願い申し上げます。(S・Y)



JA北海道厚生連
北海道厚生農業協同組合連合会
倶知安厚生病院
北海道虻田郡倶知安町
北4条東1丁目2番地
電話：0136-22-1141
FAX：0136-21-4388

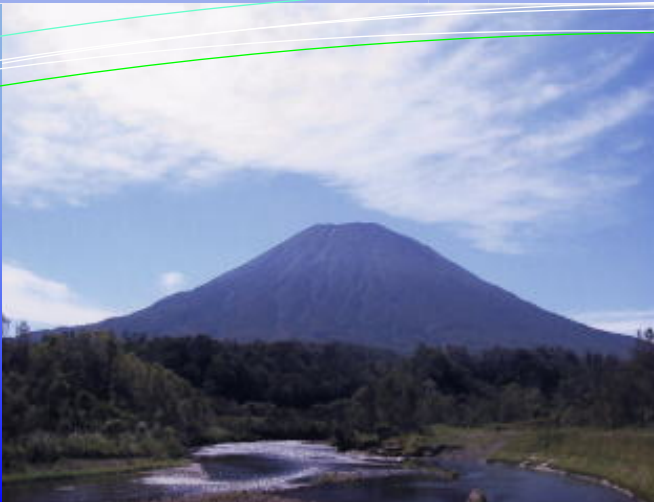
夏 第5号
2012年8月

JA北海道厚生連
倶知安厚生病院
院外広報誌

笑顔だより

目次

- 泌尿器科って P.1
- 睡眠時無呼吸症候群について P.2
- リハビリテーション科の紹介 P.3
- 各診療科外来担当医師のご案内 P.4



泌尿器科って

副院長 高木 誠次

はじめに

きれいな空気、おいしい水、そしてそびえる羊蹄山。私は豊かな自然に囲まれたこの土地が気に入り、13年前より倶知安厚生病院で勤務しています。前回の「笑顔だより」において九津見院長より倶知安厚生病院をとりまく現状について説明がありました。日本の地域医療のさまざまな問題点を抱えている当病院ですが、私も住民のひとりとしてこの地域の医療を維持していけるようにみなさんといっしょに考えながら、一方で医療を提供する側として助力してゆきたいと思います。

私は23年間泌尿器科医として働いていますが、自分の子供にも「泌尿器科ってどんな病気を診ているの?」と聞かれます。今回泌尿器科の診療について紹介させていただきたいと思います。

泌尿器科の診療について

泌尿器科は主に尿路(腎臓、尿管、膀胱、尿道)と男性性器(精巣、精管、前立腺)の病気ならびに副腎の病気に対して、治療を行っております。慢性腎不全の方に対しての血液透析治療、尿路性器がん(腎細胞がん、膀胱がん、前立腺がんなど)や前立腺肥大症の方に対しての外科的治療、体外衝撃波破砕術を中心とした尿路結石に対しての治療などが主な診療内容です。その中で男性の悪性腫瘍のなかでもっとも増加しているがんのひとつである前立腺がんについて紹介したいと思います。前立腺がんは症状を有する場合は前立腺肥大症のように排尿困難があらわれ、進行すると腰痛(前立腺がんは骨に転移しやすい)などの症状がでることがあります。

現在発見される前立腺がんの多くはPSA(前立腺特異抗原)とよばれる血液検査の異常からがんの存在が疑われ、診断されます。早期がんであれば、根治手術や放射線治療により治癒が期待されます。当院では根治手術を積極的に行っており、年間10～15例の方が手術をうけています。早期発見が重要ですので、50歳を過ぎたら、PSAによる血液検査をお勧めします。

日常の診療は私と札幌医科大学泌尿器科よりの1～2年ごとの出張医とで診療を行っています。札幌から近いという利点を生かして、大学病院の症例検討会などに参加し、大学と連携をとりながら同じレベルで診療を行えるように努力しています。尿が出づらい、ちかい、もれてしまうなど排尿に関する悩みを持っている方はたくさんいると思います。でも排泄や生殖に関係することもあり、症状があっても何となく恥ずかしいといった感覚から受診をためらっている方もいるのではないかと思います。排泄や生殖は日々の生活、人生の中でとても重要なことと考えています。困っている方、悩んでいる方があれば、気軽にご相談下さい。わたしたちは、ひとりひとりの患者様にとって一番良い治療は何かを念頭において、地域においても都市部と変わらぬ標準的な医療が提供できるよう努力しています。

睡眠時無呼吸症候群について いびき大丈夫ですか？

札幌厚生病院 森 孝之

皆さん、こんにちは。

毎週 火曜日に総合診療科で外来をしております森 孝之です。

今回は睡眠時無呼吸症候群についてご紹介したいと思います。

睡眠時無呼吸症候群 みなさん ご存知でしょうか？

2003 年に新幹線の運転手さんが居眠りをしながら運転をして緊急停止する事故が起きて注目された、あの睡眠時無呼吸です。

その他にも睡眠時無呼吸が原因での居眠りが原因で交通死亡事故なども起きています。

病名は聞いたことあるけど…。いったいどんな病気なの？

睡眠時無呼吸症候群(SAS：Sleep Apnea Syndrome)とは、毎晩大きないびきをかく人の中で、息がとまった状態が断続的にくり返される場合を言います。呼吸が 10 秒以上止まっている場合を無呼吸と言い、この無呼吸が一晩(7 時間)に 30 回以上、あるいは 1 時間当たり 5 回以上ある状態が睡眠時無呼吸症候群(SAS)です。自分は大丈夫と思っている健康な成人の中にも多数潜在しています。

睡眠時無呼吸症候群はどのくらいいるの？

30 歳から 60 歳 の 男性で 4% 女性で 2% と言われています。何らかの治療が必要な患者さんは 200 万人も存在するとされています。が・・・実際の治療を受けているのは 10 万人に満たないと言われています。

どんな症状で発見されるの？

もっとも多い症状はいびきです。次に多いのは昼間の眠気です。

無呼吸で睡眠が不足するので、日中の眠気による交通事故、労働災害、仕事や学業の能率の低下などが起ります。

また無呼吸による酸素不足のため、不整脈、狭心症、急性心筋梗塞、脳梗塞、高血圧、心不全、糖尿病といった病気をおこしたり、悪化させたりします。現在、高血圧や糖尿病、不整脈などで通院されている方の中にも睡眠時無呼吸は隠れているかもしれません。一般の人に比べ高血圧症には 3 倍、急性心筋梗塞には 6 倍、脳梗塞には 10 倍といわれています。

肥満体系の人ばかりではありません。肥満のない方でも、いびきが酷かったり、日中の眠気ある方は要注意です。

検査・治療はどうするの？

当院では、今年度から積極的に睡眠時無呼吸検査を実施しております。

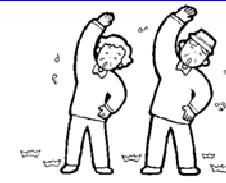
検査は、まず 1 泊 2 日で簡易検査を実施します。検査自体は胸とお腹にベルトを巻き、口と鼻に呼吸センサー、指に酸素センサーをつけるといったものです。それらセンサーをつけて就寝していただくだけです。簡易検査で中程度の無呼吸であった場合には、治療の適応を決めるために更に脳波を含めた 1 泊 2 日の精密検査をすることになります。入院は、ご希望によっては午後入院、早朝退院も可能です。

重度の無呼吸の場合には、CPAP（持続的陽圧換気）と呼ばれる機械をご自宅に貸出して、装着して就寝していただくことになります。

- 肥満があり（肥満なくても）、いびきが酷いと言われている方。
- 睡眠中に息が止まっていると指摘を受けた方。
- 日中に眠気がある方。
- 血圧の薬をたくさん服用しているけどなかなか血圧が下がらない方。
- 糖尿病のコントロールが今一つの方。

睡眠時無呼吸症候群は、高血圧、糖尿病、心臓病などいろいろな疾患に関係しています。

上記の症状のある方はもちろん、ご心配な方は、どうぞ、是非一度外来にご相談にいらしてください。



リハビリテーション科の紹介

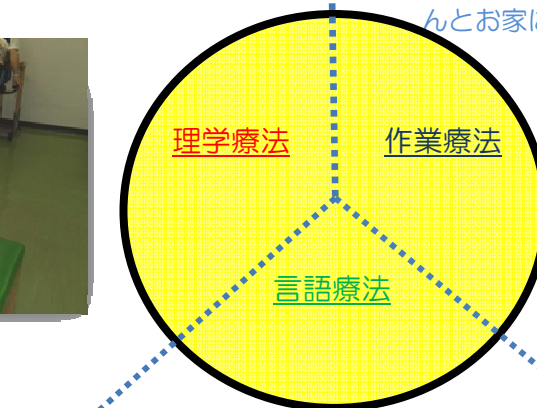
皆さんこんにちは！倶知安厚生病院リハビリテーション科です。当科は田辺明彦医師を中心に理学療法、作業療法、言語聴覚療法の 3 部門に分かれており、計 13 名（助手含む）のスタッフで構成されています。病気やケガで何らかの障がいを負った患者様に対し、再びその人らしく生活ができるよう援助することをモットーに日々取り組んでいます。



田辺医師

理学療法では、骨折などの整形外科疾患やパーキンソン病などの神経難病、脳卒中の後遺症、その他の身体的障がいを中心にリハビリテーションを行っています。また、外来リハビリでは、五十肩や腰痛、坐骨神経痛などで日常生活に支障の出た方も多く行っています。気になる方は当院外来を受診しご相談ください。

その他、訪問リハビリも実施しており、羊蹄山麓の方々を対象に行っています。



作業療法は、その人らしい生活を獲得できるよう援助していくリハビリテーションの一つです。日常生活動作、仕事、遊びなど生活に関わる様々な作業活動を治療の手段として用います。当院では、脳血管疾患、骨折、パーキンソン病、加齢に伴う身体機能低下など障がいを持つ人に対して行う身体障がい分野と、統合失調症、躁うつ病、認知症などの方に行う精神障がい分野、精神科デイケアで作業療法士がリハビリテーションを行っています。

その他、安全に在宅生活が送れるよう、入院中の患者さんとお家に伺い、『退院前訪問』も行っています。



言語聴覚療法では、脳の病気などでことばが出にくくなったり、相手の話していることが理解しにくい障がいがある患者さんへ言語訓練を行っています。その他、食べ物の飲み込みにくさ（嚥下障がい）に対する評価・訓練も行っています。飲み込みの状態をみる検査も実施しておりますので、上手く飲み込めない、ムセやすくなったなどお食事でご苦労がありましたらご相談下さい。（嚥下評価依頼相談窓口→地域医療連携室もしくは言語聴覚室田中まで）

